

# どんぐい村の こみ・すく通信

令和6年12月10日発行 令和6年度 第17号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## 第3回コミュニティ・スクール(CS)委員会開催

子どもたちの自己肯定感を高めるために取り組んできたCSの取組を学校・家庭・地域に広めるためにはどうしたらよいか？

### みんなの学校応援団の活動を紹介(その1)

#### どんちゃんLC会から 上更別小学校へプレゼント

10月22日、学校応援団であるどんちゃんLC会の神成会長と山角副会長が上更別小学校に来校。子どもたちの学校生活を応援するために、1、2年生教室に置くプリンター2台を贈呈してくださいました。児童会長が代表して受け取り、1、2年生全員が「いっぱい印刷していっぱい勉強します」と感謝を伝えました。

☆どんちゃんLC会は小中学校の3校を対象に1年に1校ずつご支援くださっています。



#### つがる三味線に夢中！上更別小5・6年生

11月12日、上更別小学校では、つがる三味線石黒会の石黒みゆきさんを講師に招き、つがる三味線体験授業を行いました。更別民謡友の会(西川克子会長)の紹介で実現しました。石黒さんから三味線のつくりや弾き方を教わった後、5・6年生は、1丁ずつ三味線を手にし、北海盆唄やミッキーマウスマーチに挑戦。「本物の三味線を弾くことができて楽しかった」と感想を話しました。



11月18日に開催された第3回CS委員会。4月からの会議内容、こみ・すく通信、各校の地域と連携した教育活動(地域学校協働活動)、みんなの学校応援団の登録状況について報告をしました。

今回のCS委員会では、「子どもたちの自己肯定感を高めるために取り組んできたCS委員会の取組を学校・家庭・地域へ広めるためにはどうしたらよいか」を熟議しました。

- ① そうならない理由、課題は？
- ② 解決するために、CS委員会・学校・PTAはどんな取組をすればよいか。

について、どんだんアイデアを出していただきました。学校運営協議会の会議でも、委員の皆さんの意見をお伺する予定です。



【熟議の様子 2人一組で考える】

課題は何？ それを解決するために何に取り組むか  
熟議の結果の一部を紹介します

#### 【課題】

- ・話し合いの場が少ない(PTA活動) ・子育てについて意識を共有する機会が少ない ・関心が薄い
- ・「自己肯定感」の意味を知らない? ・自分事として考えていない ・地域の人々には魅力や印象が薄い

#### 【課題を解決するために】

- ・「自己肯定感」をもっとアピール ・配布物(こみすく通信)をいかに見てもらうのか、わかりやすいものを作る ・毎年各学校持ち回りでCSの取組を内容のPTA研修会を行う ・4コマ漫画や動画などで発信 ・発信力の強化(学校・学級通信、懇談会、講演会など) ・コツコツと繰り返し続けていく(合い言葉化するまで繰り返し、...) ・行政区、町内会の会合等でCSの取組をプレゼンテーション ・「地域の子どもは地域で育てる」スローガンの浸透